

外科手術記録自動生成支援システムの開発

1. 研究の対象

2009 年 04 月 01 日から 2029 年 3 月 31 日までに国立がん研究センター東病院で内視鏡外科手術（腹腔鏡手術やロボット支援下手術）を受けられた方で、研究課題番号 2019-230「内視鏡外科手術の多施設データベース構築」または 2022-062「内視鏡外科手術動画等を用いた多施設データベースの構築及び利活用」の研究にご協力頂いており、手術関連情報の二次利用にご同意頂いている 18 歳以上の方を対象とします。**対象のがん種は、肝胆膵・胃・大腸・子宮・卵巣の病変、その他の腹腔内病変等に限定されます。**

2. 研究目的・方法

研究目的：手術映像とそれに関連する情報を統合し、人工知能（AI）により手術記録の自動生成を支援する次世代型システムを開発・提案することを目的とします。これにより、記録作成の負担軽減、記載の標準化・高精度化を図ります。

研究方法：すでに保有している手術動画およびそれに関連する情報を後ろ向きに解析します。

研究実施期間：研究許可日～2029 年 3 月 31 日

本研究は、国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院と株式会社 Surg storage との共同研究契約に基づく研究であり、同社からの共同研究費により実施します。

3. 研究に用いる情報の種類

手術映像（内視鏡映像、必要に応じて外視野映像）およびそれに関連する情報（年齢・性別、診断名、術式、術中所見、手術手技の内容など、記録生成と評価に必要な項目）。

映像からは、手術工程、所見のキーフレーム（重要場面）、出血の有無、器具操作など、記録生成に必要な情報を抽出・解析します。個人を直接特定できる情報（氏名、住所、連絡先等）は使用しません。

4. 外部への情報の提供

本研究は、研究課題番号 2019-230「内視鏡外科手術の多施設データベース構築」または 2022-062「内視鏡外科手術動画等を用いた多施設データベースの構築及び利活用」で収集させていただいた情報を用います。これらの情報は研究用番号が付与され、容易に個人を特定できない状態に加工されており、個人が識別できる情報は含まれません。

本研究では、研究用番号のみを使用し、個人が識別できる情報やそれを結び付ける対応表は取

得しません。また、共同研究契約に基づき、目的の達成に必要な範囲で、加工された情報(研究用番号付与)を株式会社 Surg storage にデータを提供します。国立がん研究センターでのデータ保管・利用・管理は本研究の研究者以外がアクセスできない状態で行います。共同研究機関側でも、契約に基づき再提供禁止・目的外利用禁止・アクセス権限管理等の安全管理措置を講じます。

5. 研究組織・研究責任者

国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科 後藤田 直人

株式会社 Surg storage 代表取締役 平尾 彰浩

情報の提供元機関及びその長:国立がん研究センター 理事長 間野 博行

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するために、第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

国立がん研究センター東病院

医療機器開発推進部門 AI・デジタル機器開発推進室/肝胆膵外科 佐々木 公将

住所：〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

電話番号：04-7133-1111 内線：92213